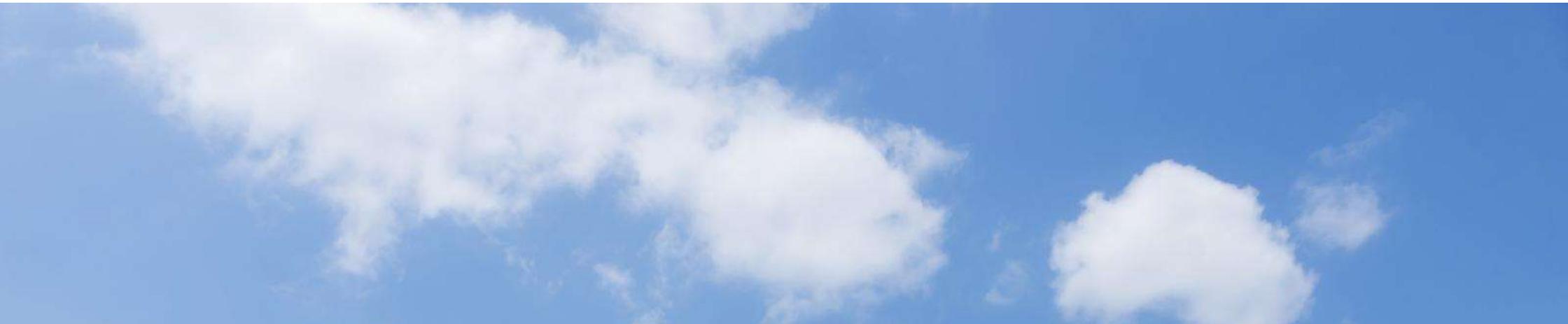


住宅向け太陽光のご案内

株式会社トーヨー富士工



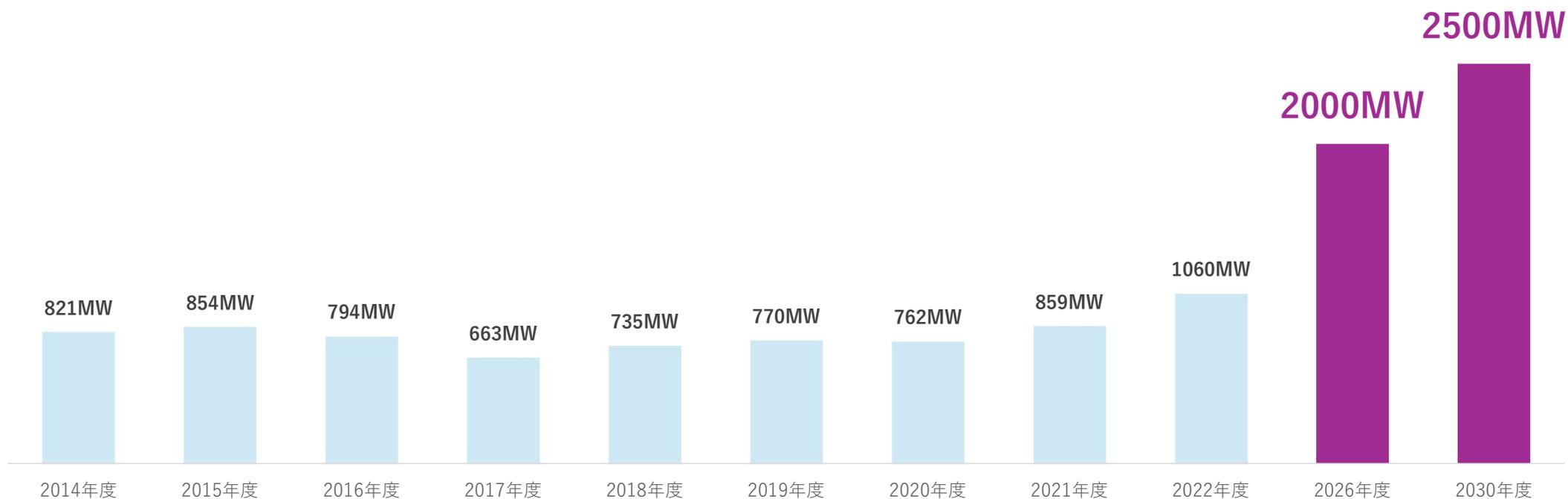
住宅向け 太陽光発電市場と新製品の特長

- 住宅・太陽光発電市場の「現状」と「課題」 -



市場導入量（住宅用太陽電池モジュール）

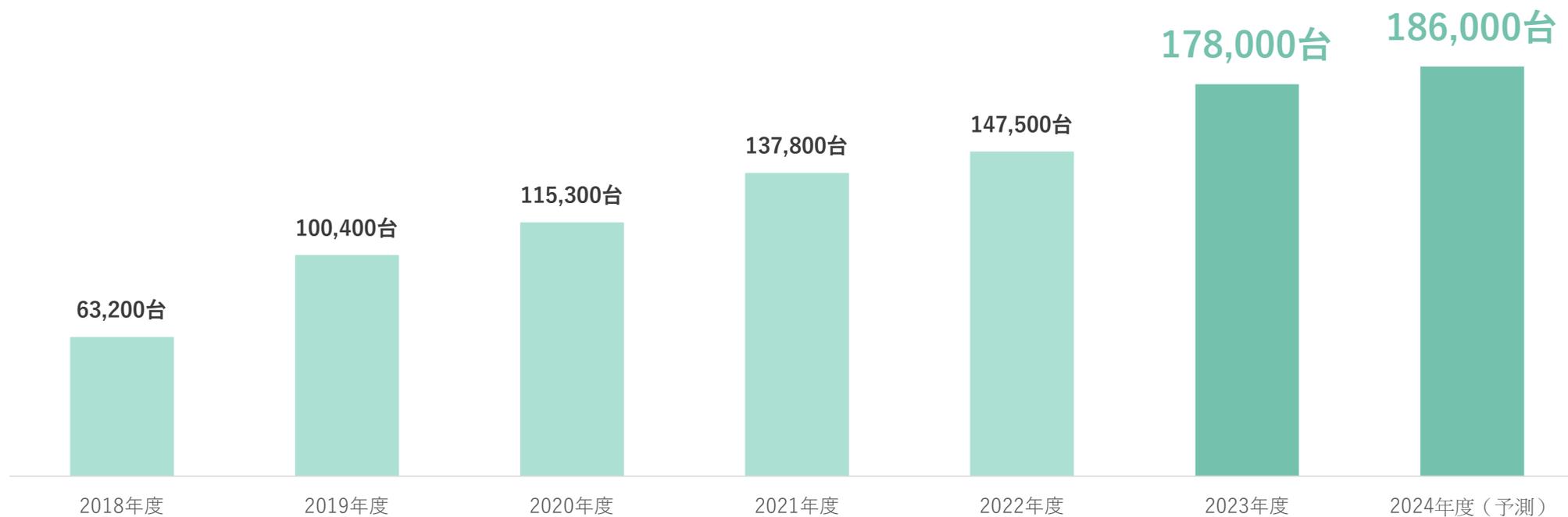
■ 太陽光発電・導入量推移（予測）



資料：2022年度までの導入量は、経済産業省（市場導入量）より作成。2026年度以降は、予測を踏まえエクソルにて作成。

市場導入件数（家庭用蓄電システム 出荷台数推移）

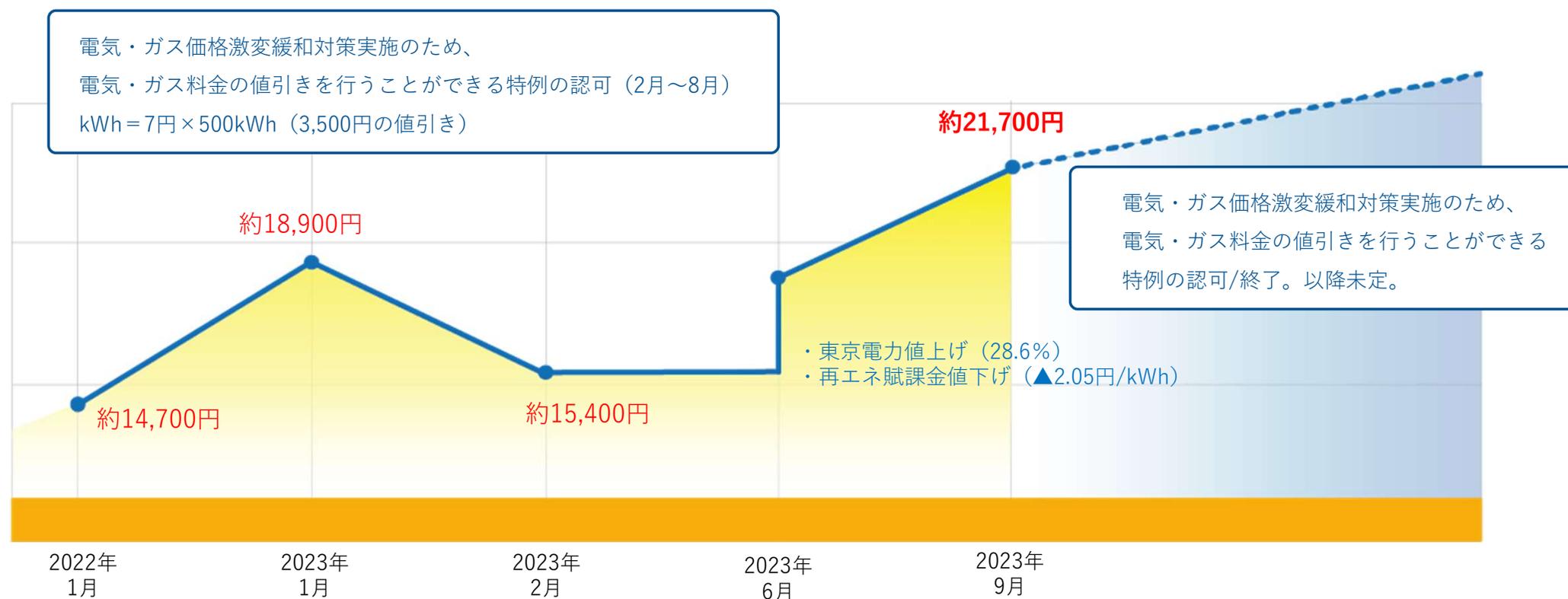
■ 家庭用蓄電システム・出荷台数推移



資料：月刊SmartHouse（No.114）より

増加要因 1：高騰する電気料金

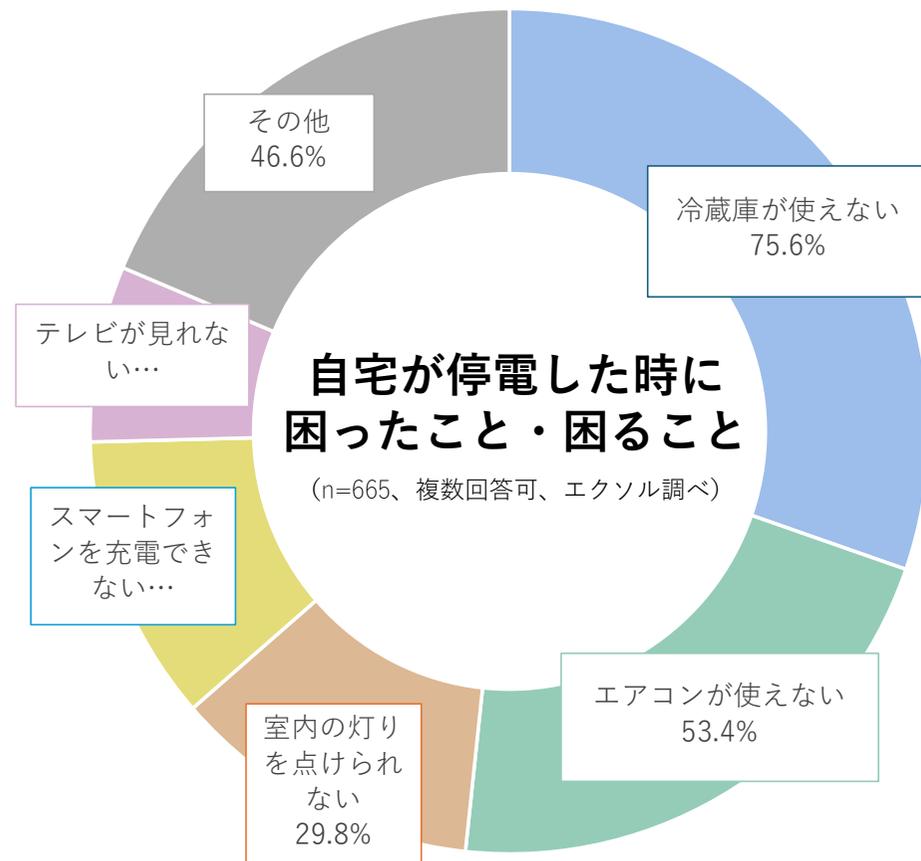
■ 東京電力 標準家庭（使用電力量500kWh 従量電灯50A契約）の月額イメージ



増加要因 2：災害などによる停電の影響

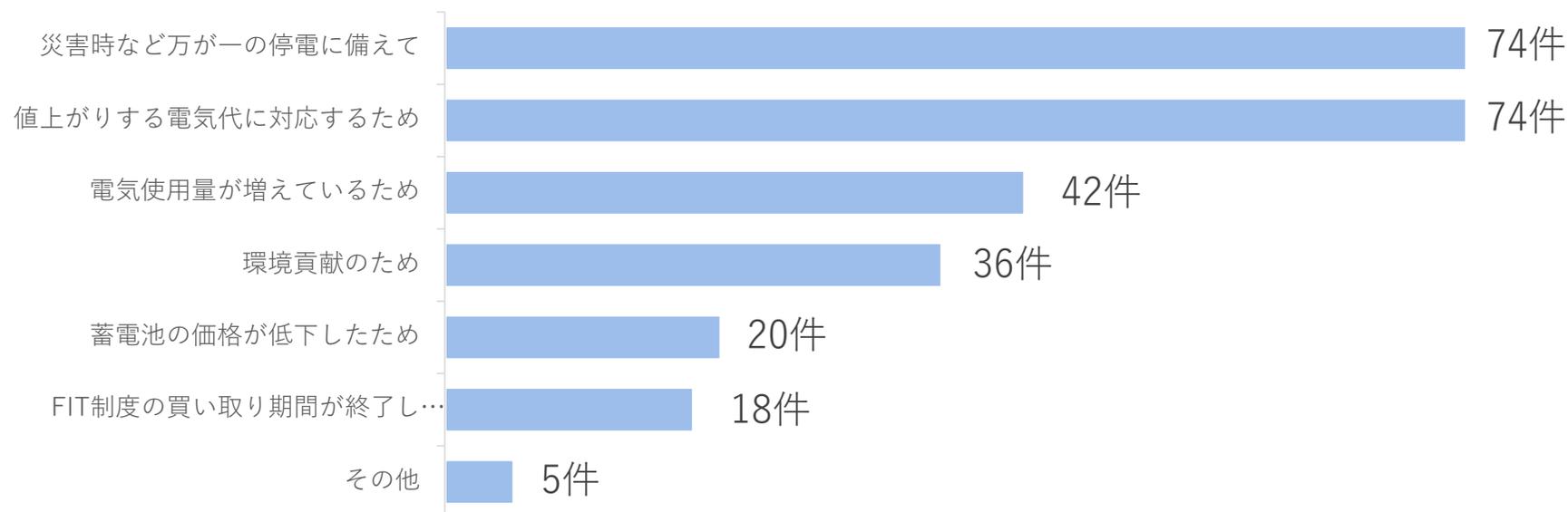
■ 日本災害年表

発生日	災害	M	死者	停電戸数	復旧までの期間
1995/1/17	阪神・淡路大震災 (兵庫県南部地震)	M7.3	6,434人	最大260万戸	6日間
2004/10/23	新潟県中越地震	M6.8	68人	30万戸以上	11日間
2011/3/11	東日本大震災	M9.0	15,900人	460万戸以上	8日間
2016/4/14	熊本地震	M7.3	211人	47万戸以上	5日間
2019/9/5	令和元年房総半島台風 (6日間に及ぶ水害)	—	3人	93万戸以上	2週間
2019/10/6	令和元年東日本台風 (2日間の大型台風)	—	105人	52万戸以上	1週間
2020/7/3	令和2年7月豪雨 (約1か月に及ぶ大型台風)	—	86人	1万戸以上	9日間
2021/2/13	福島県沖地震	M7.3	3人	95万戸以上	1～2日間
2022/3/16	福島県沖地震	M7.3	4人	220万戸以上	1～2日間
2024/1/1	能登半島地震 ※2024年2月16日時点	M7.6	241人	4万戸以上	1か月以上



増加要因 2：災害などによる停電の影響

＜蓄電池を導入した理由に関するアンケート（n=126、複数回答可、エクソル調べ）＞



4人家族（Y様邸）

万が一の停電時には**子どもや孫も集まれる避難所**になり、喜びを実感しています。

蓄電池設置後に停電が起きましたが、我が家は**いつもと殆ど変わらない生活**が送れました。
食べ盛りな子どもにも**冷蔵庫の新鮮な食材を食べさせてあげることができ助かりました。**



2人家族（M様邸）

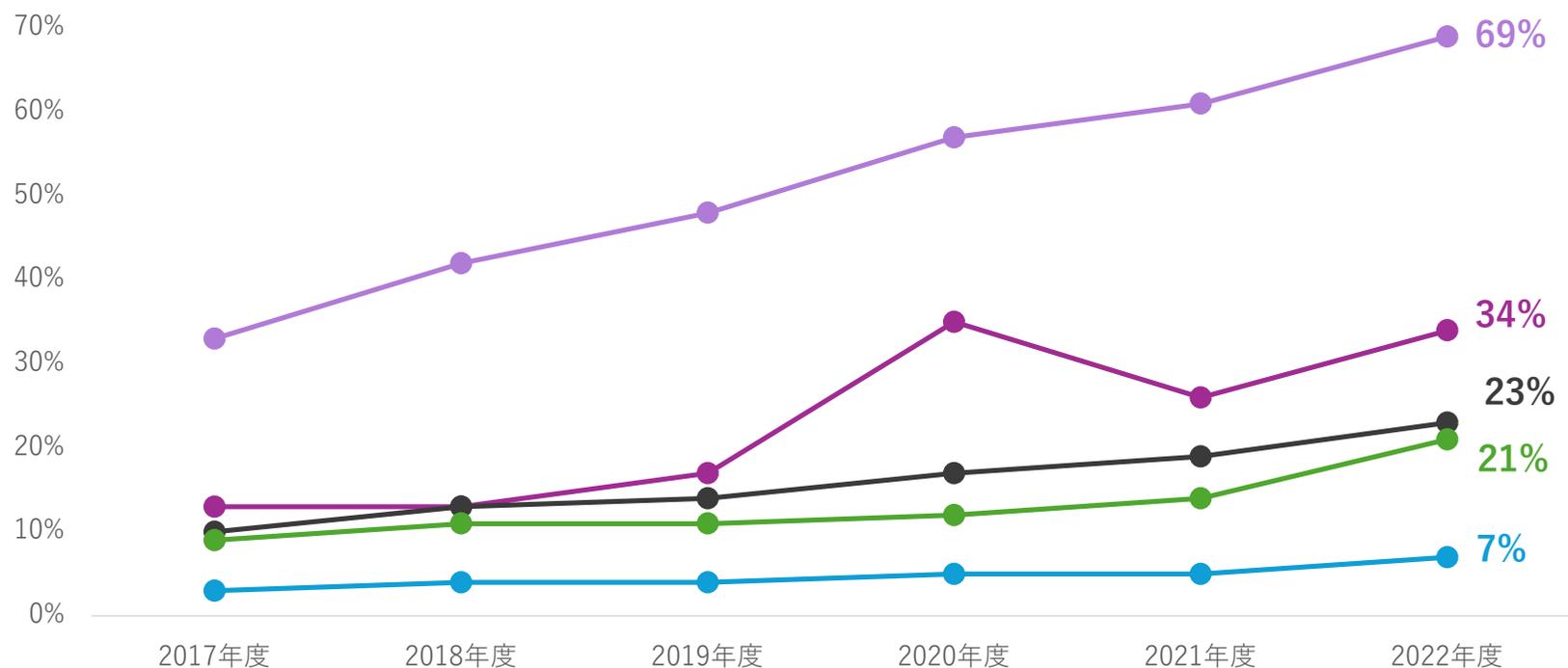
増加要因 3 : 新築戸建住宅への太陽光発電設置義務化

都道府県	施行時期	対象者・内容	補助金（一部抜粋）
東京都	2025年4月	<ul style="list-style-type: none"> ●新築住宅 ●都内年間供給延床面積が2,000㎡以上の大手住宅供給事業者 ●その他、申請を行い知事から承認を受けた事業者も制度に参加可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ●PV：10万円/kW ※設置容量3.6kW以下の場合、12万円/kW（上限36万円） ●BT：3/4 ※6.34kWh未満の場合 上限10万円/kWh 6.34kW以上の場合 上限15万円/kWh
神奈川県 川崎市	2025年4月	<ul style="list-style-type: none"> ●新築建築物 ●延床面積2,000㎡未満の新築建築物を市内に年間一定量以上建築・供給する事業者 	<ul style="list-style-type: none"> ●PV：2万円/kW ※上限10万円 ●BT：1万円/kW ※上限10万円
神奈川県 相模原市	2025年度中	<ul style="list-style-type: none"> ●新築建築物 ●都内年間供給延床面積が2,000㎡以上の大手住宅供給事業者 	検討中
宮城県	2025年 4月目標	検討中	検討中
長野県	2030年	<p>【対象者】 検討中</p> <p>【内容】 2030年 全ての新築住宅のZEH化 2050年 新築:高断熱・高気密化 既築:省エネ基準を上回る性能へリフォーム</p>	検討中

太陽光発電設置義務化の波は
次々に横展開され当たりまえに

増加要因 3：新築戸建住宅への太陽光発電設置義務化

■ 事業者区分ごとの新築住宅全体におけるZEH化率



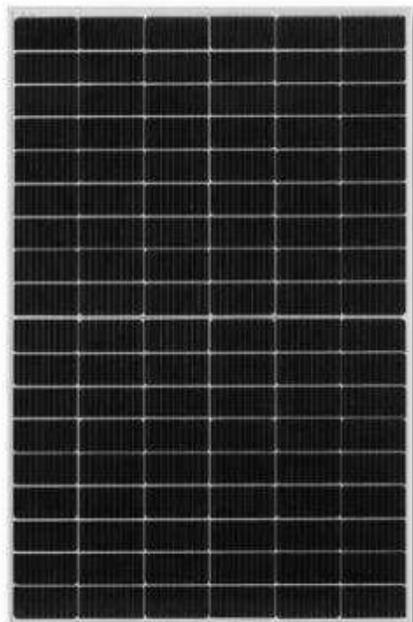
ZEHの普及拡大が急務

資料：月刊SmartHouse No.113（2024年6月20日発刊号）より

モジュールの紹介

単結晶 太陽電池モジュール

XLM108-415X



高出力で様々な条件や環境に対応

主な特長

- ・ PERC構造を採用
- ・ ハーフカットセル
- ・ 25年目でも84.8%の出力を保
- ・ PID耐性

認証



製品保証

12年

出力保証

25年 リニア保証

スマートソーラー

特長1 お客様のニーズに合わせて最適な商材をセレクト

～②ハイブリッド型蓄電池（HBPCS+B）～



おすすめポイント

- ✓ ハイブリッド型 ●PCS:4.95kw ●蓄電池:5/10/15kwh
消防法の規定内MAXで設置が可能！
- ✓ **蓄電池容量と実行容量が同一**で分かりやすい
- ✓ **全負荷・特定負荷**、どちらも対応可能！（全負荷60Aまで）
- ✓ **さまざまな環境で設置可能！**
 - ・屋内外設置可能
 - ・動作温度は、-10℃～のため寒冷地エリアの設置も可能
 - ・海岸から500m以内の海水直接かからない**塩害地域も設置可能**
- ✓ 蓄電池（DCDCコンバータ・蓄電池ユニット）を分けて
運搬できるため、**納品・施工が容易！**
- ✓ **蓄電池ユニットの増設**や**蓄電池自体の後付け設置**も可能！

XSOL蓄電池の紹介

特長1 お客様のニーズに合わせて最適な商材をセレクト

～②ハイブリッド型蓄電池（HBPCS+B）～



おすすめポイント

- ✓ ハイブリッド型 ●PCS:4.95kw ●蓄電池:5/10/15kwh
消防法の規定内MAXで設置が可能！
- ✓ **蓄電池容量と実行容量が同一**で分かりやすい
- ✓ **全負荷・特定負荷**、どちらも対応可能！（全負荷60Aまで）
- ✓ **さまざまな環境で設置可能！**
 - ・屋内外設置可能
 - ・動作温度は、-10℃～のため寒冷地エリアの設置も可能
 - ・海岸から500m以内の海水直接かからない**塩害地域も設置可能**
- ✓ 蓄電池（DCDCコンバータ・蓄電池ユニット）を分けて運搬できるため、**納品・施工が容易！**
- ✓ **蓄電池ユニットの増設**や**蓄電池自体の後付け設置**も可能！

XSOL蓄電池の紹介

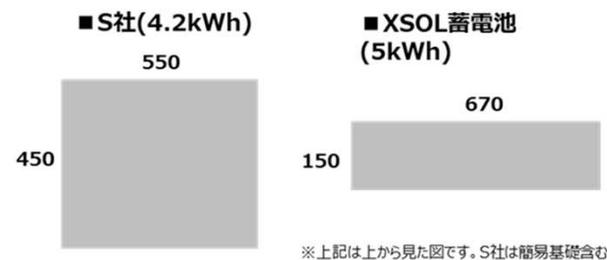
他社に負けないコンパクトな蓄電システム

蓄電池の厚みが150mm（15cm）と非常にコンパクトな蓄電池で**狭小住宅などにも最適**な蓄電池となります。
また、増設も15kWhまでは縦方向の増設の為、設置スペースを取りません。

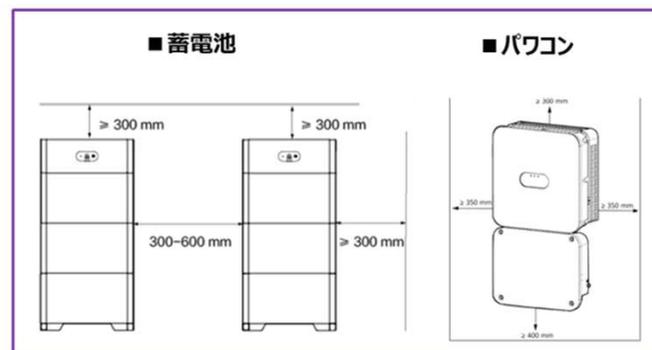


④必要敷地面積

他社に負けない薄さで設置場所の選択肢が広がる！



⑤【離隔距離について】



全負荷対応と特定負荷対応（低容量・一部分のみ）の メリット・デメリット

	特定負荷対応	全負荷対応
メリット	<ul style="list-style-type: none">・ 必要最低限の容量なので価格が安い	<ul style="list-style-type: none">・ 停電時でも200VエアコンやIHクッキングヒーターが使える・ 家中、どこでも使用可能
デメリット	<ul style="list-style-type: none">・ 電気をたくさん使いたいお家には、容量が足りなくなる可能性がある	<ul style="list-style-type: none">・ 特定負荷よりも価格が高くなる

全体スケジュール

電力申請の流れ

申請提出～連係まで、最短で4ヶ月・遅くて8ヶ月かかります

契約後

①補助金申請（事前）

↓1ヶ月

②電力申請 1回目

↓*1ヶ月

③事業計画申請

↓*3～6ヶ月

④電力申請 2回目（系統連係 立会依頼）

↓*1ヶ月

⑤系統連係（システム起動）-施主引渡し

↓

⑥メーカー保証申請

↓

⑦補助金申請（完了報告書）

←③事業計画申請は
余剰売電せず自家消費のみにすると省略可能
完了までの期間が短くなります。

2025年度タイムスケジュール

【注意】事業認定申請が1/7を過ぎると4月以降にしか申請できなくなります(売電価格変更の可能性あり)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①電力申請締切							11月7日				
(経産省)事業認定書締切									1月7日		
(補助金)事前申請1回目		補助金									
②電力申請 1回目		電力									
③事業計画書1回目・2回目											
④電力申請 2回目（ラスト）											
⑤系統連係								引渡し日			
⑥補助金完了申請											